

報道関係各位

一般社団法人日本能率協会
産業振興センター

＜開催案内＞ドローン(無人航空機)の産業利用に焦点をあてた専門展示会 「第3回国際ドローン展」4月19日より幕張メッセで開催

一般社団法人日本能率協会（JMA、会長：中村正己）は、2017年4月19日（水）～21日（金）の3日間、千葉市・幕張メッセで、「第3回 国際ドローン展」を開催します。

「国際ドローン展」は、物流・輸送、警備・監視、巡視・点検、災害対応、計測・観測、農林水産など多岐にわたる産業分野におけるドローン（無人航空機）の利用に焦点を当て、ドローン本体、構成技術、産業応用事例までを一堂に紹介するショー&カンファレンスです。

今回は49社（99ブース）が出展。ドローンの産業利用に焦点を当て、実際のビジネスとしてドローンが活用されている事例を紹介します。

大好評企画「ドローン飛行デモンストレーション」では、半導体メーカ「ローム」と「enRoute」の技術でドローンとセンサ・無線が織りなすIoTソリューションデモ、自律制御システム研究所によるビジョンを用いた非GPS環境下の自律飛行デモが行われます。

また、会場内では特別講演会を開催。ドローン宅配実験などの取り組みで注目を集める千葉市総合政策局 局長による講演、i-Constructionにおけるドローン活用についての講演、改正航空法の現状と今後の制度設計の方向性についての講演の3テーマで行われます。

■ 概要 ■

開催期間	2017年4月19日(水)～21日(金) 10:00～17:00
会場	幕張メッセ（幕張・千葉）
主催	一般社団法人日本能率協会
後援	経済産業省、総務省、国土交通省、千葉市
展示規模	49社／99ブース
予定来場登録者数	32,000人 ※全展示会合計（2016年実績：31,403人）
来場方法	¥3,000（税込）※ホームページ（ http://www.jma.or.jp/tf/ja/drone/ja ）からの事前登録証または招待状持参者および学生は無料
同時開催	TECHNO-FRONTIER 2017／第3回国際ドローンシンポジウム／第2回駅と空港の設備機器展

■ 取材のご案内 ■ 報道機関の皆様の取材をお待ちしています。

◆プレス登録方法：取材にあたっては展示会場でのプレス登録が必要です。名刺を2枚ご用意いただき、来場当日にプレスルームでお手続きをお願いいたします。また、併設セミナーを聴講される場合は、プレス登録をお済ませのうえ、開始時刻にあわせて直接会場にお越しください。

※テレビ・ラジオ媒体の取材については、事前に広報室・斎藤（TEL:03-3434-8620）までご連絡ください。

◆プレスルーム【場所】6ホール前（2階部分）【プレス受付】9:30～

【本件に関するお問い合わせ】 TECHNO-FRONTIER 他各展示会事務局（担当：和田、井田、山本、石井）

一般社団法人日本能率協会 産業振興センター内 〒100-0003 東京都千代田区一ツ橋1-2-2 住友商事竹橋ビル14階

TEL：03-3434-0587 FAX：03-3434-8076 E-mail：tf@jma.or.jp /

ホームページ： <http://www.jma.or.jp/TF/ja/drone/ja/>

※取材のお問い合わせは、広報室（TEL：03-3434-8620、担当：斎藤）へお願いいたします

◆<無料>特別講演会（ドローンに関するセッション）プログラム

日時：2017年4月19日（水）～21日（金）15:00～16:00

会場：展示ホール7内特別講演会会場 定員：300人

参加料：無料 ※申込みはホームページ <http://www.jma.or.jp/TF/ja/drone/ja/>で受付

4月19日(水) 15:00～16:00	千葉市が目指すドローン宅配等の取組み ～近未来技術を活用した幕張新都心のまちづくり～(仮) 千葉市総合政策局 局長
4月20日(木) 15:00～16:00	i-Constructionにおけるドローン活用について 国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 課長補佐 近藤 弘嗣 氏
4月21日(金) 15:00～16:00	改正航空法の現状と今後の制度設計の方向性 国土交通省 航空局 安全部 安全企画課 無人航空機企画調整官 甲斐 健太郎 氏

◆出展企業・団体（50音順）

※2017年4月3日現在

アイサンテクノロジー／岡谷鋼機

アジア航測

アルゴ

インダストリーネットワーク

インプレス

M-SOLUTIONS

エンルート/エンルート M's

快適空間 FC

革新的研究開発推進プログラム (ImPACT)タフ・ロボティクス・チャレンジ 飛行ロボット分科会

KEVA ドローン

コーンズ テクノロジー

国際航業

サイトテック

三信建材工業

芝本産業

島内エンジニア

ジャスト

昭和測量

自律制御システム研究所

SkyLink Japan

西武建設/芝浦工業大学 伊代田研究室・長谷川研究室

田中電気

ツカサ電工

TI アサヒ

テラドローン

東京航空計器

トラスト

ドローン大学校

那賀町ドローン推進室

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京/中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋

日本 UAV 利用促進協議会/ミツイワ/セベック

日本海洋

日本サーキット

日本電気

新名称：(一社) 日本ドローンコンソーシアム 旧名称：(一社) ミニサーベイヤーコンソーシアム

パスコ

ブイキューブロボティクス・ジャパン

北陽電機

丸山製作所

MIKAWAYA21

ミヤマエ

【ご参考】同時開催：ドローンシンポジウム（会場：幕張メッセ・国際会議場）

※ご取材の登録は、幕張メッセ国際会議場・ドローンシンポジウム受付にてお願いします。

※講演者、プログラム内容は変更になることがあります。（敬称略）

4月19日（水）

10:00～13:00

S1 オープニングセッション ～ドローンが可能にする近未来社会～ 同時通訳

モデレータ 株式会社自律制御システム研究所 代表取締役 最高経営責任者/CEO, Ph.D. 野波 健蔵

■ イントロダクション 「ドローンが可能にする近未来社会」

株式会社自律制御システム研究所 代表取締役 最高経営責任者/CEO, Ph.D. 野波 健蔵

■ 特別講演 「世界から期待される人道支援におけるドローン活用」(仮題)

UNICEF Innovation(ユニセフ本部 インノベーション部門) Senior-Advisor Mr. Christopher Fabian
[2013年『TIME』誌「世界で最も影響力のある100人」に選出]

■ 特別講演 「ドローンの国際的な標準化に関する最新動向」(仮題)

ISO/TC20/SC16(Umanned aircraft systems) Chairperson Mr. John Walker
[ISO(国際標準化機構) 無人航空機システム 国際標準化検討会 委員長]

■ 特別講演&ディスカッション ～ドローンが可能にするビジネス革新！～

楽天株式会社 Amazon Prime Air TopXGun社[中国ベンチャー企業]

4月20日（木）

10:00～13:00

S2 テクノロジーセッション ～i-Construction&データ加工～

■ 基調講演 『ドローンの利活用推進～環境整備と技術開発の取り組み』

経済産業省 製造産業局 産業機械課 ロボット政策室 技術係長 牛嶋 裕之

■ 事例講演 『ドローン利活用におけるワンストップサービスと 新たな産業向けソリューション展開』(仮題)

株式会社エンルートMs 代表取締役 辺見 俊彦

■ 事例講演 『ドローンスクールと3次元計測の基礎と導入 ～測量へのドローン利活用と今後の課題～』

国際航業株式会社 事業開発本部 ドローン事業部 センシング技術担当部長 村木 広和

■ 事例講演 『ドローンによる3次元データ生成と活用事例』

株式会社パスコ 技術統括本部 新空間情報センター 課長 堺 浩一

4月21日（金）

10:00～13:00

S3 テクノロジーセッション ～物流ドローンとリモートセンシング（農業への活用）～

■ 基調講演 『「国家戦略特区」におけるドローンの技術実証』(仮題)

内閣府 地方創生推進事務局 審議官 藤原 豊

■ 事例講演 『ドローン性能の進化と運用ソリューション ～ACSLが目指す進化型ドローンとは～』

株式会社自律制御システム研究所 取締役 CMO(最高事業推進責任者) 鷲谷 聡之

■ 事例講演 『ドローンによるセンシング・データ処理技術の進化と産業用ソリューションの 展開』

エアロセンス株式会社 事業推進 取締役 嶋田 悟

■ 事例講演 『リモートセンシングのスマート農業への活用～ドローンの可能性～』

国立研究開発法人農研機構 農業環境変動研究センター 井上 吉雄

以上